

川崎 俊輔

[自分の人生で実験してみた結果 [中間報告]]

京都大学 iPS細胞研究所 特定研究員 博士 (医科学)

専門

分子生物学・合成生物学



経歴

2007年3月 京都市立堀川高等学校 自然探求科 卒業

2012年3月 関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科 卒業

学士 (工学)取得

(池内俊彦 教授:オートファジー関連タンパク質の研究に従事)

2014年3月 京都大学大学院 生命科学研究科 修士課程

統合生命科学専攻 修了

修士 (生命科学) 取得

(井上丹 教授:疾患関連タンパク質に応答するmRNAスイッチの開発に従事)

2017年3月 京都大学大学院 医学研究科 博士後期課程 医科学専攻

単位取得退学

(齊藤博英 教授:内在性タンパク質に応答するmRNAスイッチの開発に従事)

2017年4月 京都大学 iPS細胞研究所 非常勤研究員

2017年7月 京都大学 博士 (医科学)の学位を授与される

2017年9月 京都大学 iPS細胞研究所 特定研究員

分子生物学の研究をするため大学に進学するも、大学院より合成生物学の道に進む。修士課程では、RNA工学、哺乳類細胞合成生物学の研究を行う。博士課程進学後、合成生物学の医療応用を目指した研究に従事。主な研究テーマは、RNAを基盤とした人工遺伝子発現制御・細胞運命制御システムの構築。最近の関心事は、人工生体分子の創生・哺乳類細胞バイオコンピュータの開発。